実施計画書作成例（ドラム缶による燃料の仮貯蔵及び仮取扱い）

|  |
| --- |
| 実施計画書提出者住所・氏名（連絡先　　　　　　　　　　　） |

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書【例１】

１　目的

　　震災等により被災地においてガソリン等の燃料が不足した場合に災害復興支援車両等への燃料補給を行うことを目的とし、危険物施設以外の場所での一時的な貯蔵やドラム缶から手動ポンプを用いて金属携行缶への詰め替えを行い、仮設の燃料供給拠点として利用するために必要な事項をあらかじめ計画します。

２　仮貯蔵・仮取扱いをする場所

　　〇〇市△△町□□丁目●●番地　▲▲工場東側空地（コンクリート補装）

３　仮貯蔵・仮取扱いに使用する部分の面積

　　約３６０平方メートル（１５メートル×２４メートル）

４　詳細レイアウト

　　別添のとおり

５　仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類・品名・数量

　　第４類第１石油類（ガソリン）３，０００リットル

６　指定数量の倍数

　　１５倍

７　貯蔵及び取扱いの方法

　⑴　２００リットルの金属製容器（ドラム缶）により貯蔵する。

　⑵　保有空地を６メートル確保する。

　⑶　貯蔵場所と取扱い場所に６メートルの離隔距離をとる。

　⑷　高温になることを避けるため、必要に応じて通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設ける。また、取扱場所において危険物が炎天下長時間さらされないようにする。

　⑸　第５種消火設備　１０型ＡＢＣ粉末消火器　３本を設置する。

　⑹　標識、掲示板を設置し、関係者に次の事項について注意喚起を行う。

　　　「危険物仮貯蔵・仮取扱所」、「危険物の類・品名・数量（倍数）」、「火気厳禁」

８　安全対策

　⑴　ドラム本体、給油に使用するドラムポンプ等のアースを確保する。

　⑵　危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。

　⑶　危険物を取り扱う者は、静電安全靴を着用する。

９　管理状況

　⑴　保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。

　⑵　敷地の出入り管理を徹底し、いたずら、盗難を防止する。

　⑶　作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。

10　その他必要な事項

　　金属製携行缶による詰め替えは、この場所以外では行わない。

実施計画書作成例（危険物を収納する設備等からの危険物の抜取り）

|  |
| --- |
| 実施計画書提出者住所・氏名（連絡先　　　　　　　　　　　） |

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書【例２】

１　目的

震災等により被災した変圧器等を修繕、点検するために必要な事項をあらかじめ計画します。

２　仮貯蔵・仮取扱いをする場所

　　〇〇市△△町□□丁目●●番地　〇〇工場南側空地

３　仮貯蔵・仮取扱いに使用する部分の面積

　　約１２０平方メートル（１２メートル×１０メートル）

４　詳細レイアウト

　　別添のとおり

５　仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類・品名・数量

　　第４類第３石油類　絶縁油　１０，０００リットル

６　指定数量の倍数

　　５倍

７　貯蔵及び取扱いの方法

　⑴　変圧器の修繕、点検のため、変圧器内部の絶縁油を一旦抜取り、仮設タンク等で貯蔵し、内部修繕・点検が終了後に変圧器内部に再度注油する。

　⑵　保有空地を３メートル確保する。

　⑶　第５種消火設備　１０型ＡＢＣ粉末消火器　２本を設置する。

　⑷　標識、掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。

　　　「危険物仮貯蔵所・仮取扱所」、「危険物の類・品名・数量（倍数）」、「火気厳禁」

８　安全対策

　⑴　変圧器等、ポンプ、仮設タンクのアースを確保する。

⑵　仮設の防油堤を設定し、漏洩防止シートの敷設等の流出防止対策を講ずるとともに、配管の接合部からの流出防止対策としてオイルパンを設置する。

⑶　１箇所の取扱い場所で同時に複数の設備からの抜き出しは行わない。

⑷　危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。

９　管理状況

　⑴　保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。

　⑵　敷地の出入り管理を徹底し、いたずら、盗難を防止する。

　⑶　作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。

10　その他必要な事項

　　危険物の抜き出し等を行った変圧器の数及び危険物の数量を記録し、管理する。

実施計画書作成例（移動タンク貯蔵所等による軽油の給油・注油等）

|  |
| --- |
| 実施計画書提出者住所・氏名（連絡先　　　　　　　　　　　） |

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書【例３】

１　目的

　　震災等により被災地において災害復興のため、移動タンク貯蔵所から重機への燃料補給及びドラム缶への注油を行うために必要な事項をあらかじめ計画します。

２　仮貯蔵・仮取扱いをする場所

　　〇〇市△△町□□丁目●●番地　　▲▲工場西側空地

３　仮貯蔵・仮取扱いに使用する部分の面積

　　約２，０００平方メートル

４　詳細レイアウト

　　別添のとおり

５　仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類・品名・数量

　　第４類第２石油類(軽油)１日最大２０，０００リットル

６　指定数量の倍数

　　２０倍

７　貯蔵及び取扱いの方法

　⑴　移動タンクを貯蔵所から直接重機への給油及びドラム缶への詰め替えを行う。(詰め替えたドラム缶は別途確保する貯蔵場所へ速やかに移動させる。)

　⑵　保有空地を６メートル確保する。

　⑶　高温になることを避けるため、必要に応じて通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設ける。

　⑷　第５種消火設備　１０型ＡＢＣ粉末消火器　３本を設置する。

　⑸　標識、掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。

　　　「危険物「仮貯蔵・仮取扱所」、「危険物の類・品名・数量（倍数）」、「火気厳禁」

８　安全対策

　⑴　ドラム本体のアースを確保する。

　⑵　吸着マット等の危険物の流出等の応急資機材を準備する。

　⑶　危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。

９　管理状況

　⑴　保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。

　⑵　敷地の出入り管理を徹底し、いたずら、盗難を防止する。

　⑶　作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。

10　その他必要な事項

　　移動タンク貯蔵所への注油は別の場所で行う。

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（ドラム缶等による燃料の仮貯蔵及び仮取扱い）

１　仮貯蔵・仮取扱い詳細レイアウト

6m

6m

6m

6m

６ｍ

ドラム缶等

取扱場所（約２０㎡）

ドラム缶等

保有空地の周囲にバリケード（ロープ等を張る）で空地を確保する。

保有空地６ｍを確保する。

高温となることを避けるため、通気性を確保した日除けを設置。

貯蔵場所

（約２０㎡）

ドラム本体だけでなく、給油に使用するドラムポンプ等からもアースを確保する。

２００リットルの金属製容器（ドラム缶）にて貯蔵する。（最大１５本）

・取扱場所に置くドラム缶は１本のみとする。

・長時間炎天下にさらされないように配慮する。

・通気、換気のよい場所で実施する。

６ｍ

取扱場所と貯蔵場所は６ｍ以上離隔すること。

第５種消火設備を３本設置する。

６ｍ

２　標識・掲示板（例）※標識・掲示板を設置し、関係者に注意喚起を行う。

・大きさ、縦３０ｃｍ以上、幅６０ｃｍ以上（横書き可）

・「火気厳禁」は、地は赤、文字は白字

・「危険物仮貯蔵所・仮取扱所」は地は白色、文字は黒字

危険物仮貯蔵・仮取扱所

危険物の類・品名・数量（倍数）

・第４類　第１石油類　ガソリン

　３，０００リットル（１５倍）

管理者　○○○○

火気厳禁

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（危険物を収容する設備等から危険物の抜取りの安全対策の例）

１　仮貯蔵・仮取扱い詳細レイアウト

3m

3m

3m

3m

第５種消火器２本設置

防油堤を設け、漏えい防止シートで覆い流出防止措置を講ずる。

保有空地３ｍを確保する。

保有空地の周囲にバリケード（ロープ等を張る）で空地を確保する。

オイルパン

３ｍ

変圧器

防炎シート、仮設防油堤

ポンプ

３ｍ

２　標識・掲示板（例）※標識・掲示板を設置し、関係者に注意喚起を行う。

・大きさ、縦３０ｃｍ以上、幅６０ｃｍ以上（横書き可）

・「火気厳禁」は、地は赤、文字は白字

・「危険物仮貯蔵所・仮取扱所」は地は白色、文字は黒字

危険物仮貯蔵・仮取扱所

危険物の類・品名・数量（倍数）

・第４類　第３石油類

　１０，０００リットル（５倍）

管理者　○○○○

火気厳禁

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（タンクローリ、ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い）

１　仮貯蔵・仮取扱い詳細レイアウト

6m

6m

6m

6m

6m

6m

注油場所

吸着マット、消火器

保有空地の周囲にバリケード（ロープ等を張る）で空地を確保する。

保有空地６ｍを確保する。

防油堤を設け、漏えい防止シートで覆い流出防止措置を講ずる。

ドラム缶等

６ｍ

６ｍ

貯蔵場所

給油場所

給油場所

６ｍ

６ｍ

６ｍ

６ｍ

高温となることを避けるため、通気性を確保した日除けを設置。

詰め替え後ドラム缶は順次運びだし、この場所で保管しない。

ドラム本体だけでなく給油に使用するドラムポンプ等からもアースを確保する。

２　標識・掲示板（例）※標識・掲示板を設置し、関係者に注意喚起を行う。

・大きさ、縦３０ｃｍ以上、幅６０ｃｍ以上（横書き可）

・「火気厳禁」は、地は赤、文字は白字

・「危険物仮貯蔵所・仮取扱所」は地は白色、文字は黒字

危険物仮貯蔵・仮取扱所

危険物の類・品名・数量（倍数）

・第４類　第２石油類　軽油

　２０，０００リットル（２０倍）

管理者　○○○○

火気厳禁